

早稲田大学
解築学研究会
主催

沖永良部島 公開講座

2025.12.18
木曜日
18:00-20:30



無用を
用に変える
方法

会場：知名町フローラル館

申込不要・
参加費無料

使い古された家具。

手入れをしていない庭の雑木。

島のどこにでもある土や石。

そして、誰も住まない家や土地。

もし、使えないものが使えるようになったら。

もし、古いものが誰かが使えるようになったら。

早稲田大学建築学科が中心となって立ち上げた
解築学研究会では、「解いて建てる」をテーマに
これからの暮らしの場をつくるための、研究と
実証をこの沖永良部島で始めようとしています。

身の回りの「無用」を「用」に変えていく。
その方法を一緒に考えませんか。

「用」のない人はぜひお越しください。

日時・場所 ▶ 令和7年12月18日(木) 18時～20時30分
知名町フローラル館(知名町知名520)

お問合せ先 ▶ nakatani.nakatani.lab@gmail.com

タイムライン ▶

- ① 早稲田大学と考えるミライのモノづくりって何だろう。
- ② 島のいろいろで、何ができるか。ゴミをお宝に変えてみる
／島の土でコンクリートを作ってみる。【実演】
- ③ これから始まる、ミライのモノづくり —早稲田大学リビングラポー

▶ モデレーター



高木啓司(株式会社山下PMCシニアフェ
ロー/早稲田大学非常勤研究員)

1964年生まれ。建設マネジメント会社勤務。建設会
社にて大規模災害の復旧、復興支援、ダム、トンネ
ルから集合住宅までさまざまな分野に従事したの
ち、現職。10年前より全国で地方創生を支援し、僻
地や過疎地での長期にわたる地域密着型の取組みが
評価されている。



中谷礼仁(早稲田大学教授)

1965年生まれ。建築史家。建築の出発点を、「大地
を「解く」ことから考える「解築学」の主旨者の一
人。日本で千年以上続いている集落・地域を調べる
千年村プロジェクトなど、建築の枠にとらわれない
ユニークな取組みで知られている。

こんな方におすすめ

▶ 沖永良部島だからこそできる
ミライのものづくりについて考え
てみたい!

▶ リビングラポについて知り
たい、関わりたい。

▶ 循環の考え方や沖永良部で
どのようにできるのか?を一緒
に考えたい。

▶ 身の回りの資源の有効活用
方法を知りたい。

主催：早稲田大学解築学研究会

後援：  知名町